

西本宮（にしほんぐう）

西本宮は、日吉大社を構成する7つの神社のうち、最高位の神社である。日本の守護神である大己貴命(おなむちのみこと)を祀っている。比叡山に初めて建てられた恒久的な宗教施設の跡地で、668年頃、天智天皇(626-672)の勅願により建立された。

現在の本殿は、1571年に織田信長の軍勢によって焼失した後、1586年に建てられたものである。日枝造りと呼ばれる建築様式は、他の神社ではあまり見られない特徴を持っている。例えば、本殿の1階は基礎から十分に高い位置にあり、その下に天井の低い部屋がある。この部屋は19世紀後半まで仏教の礼拝に使われていたが、現在は特別な礼拝のために時々使われるだけである。本殿は国宝に指定されている。